

2026年JAF中部・近畿ラリー選手権 第1戦

2026年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ 第1戦

2026年JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ 第1戦

いなべ東近江ラリー2026



特別規則書

開催日：2026年6月6日～7日

後援 三重県 滋賀県 いなべ市 東近江市

主催：トライアルスタッフオン！

いなべ東近江ラリー 2026 目次

第1条	プログラム	P 3
第2条	競技会の名称	P 3
第3条	競技会の格式	P 3
第4条	競技種目	P 3
第5条	開催日程及び開催場所・競技距離	P 3
第6条	競技会本部（H Q）及びサービスパーク	P 4
第7条	コース概要	P 4
第8条	オーガナイザー	P 4
第9条	大会役員	P 4
第10条	競技会主要役員	P 5
第11条	参加申込及び参加料	P 5
第12条	保険	P 7
第13条	整備作業	P 7
第14条	賞典	P 7
第15条	ラリー行程表（アイテナリー）	P 7
第16条	参加車両	P 8
第17条	クラス区分	P 9
第18条	参加資格	P 10
第19条	参加受理	P 10
第20条	参加台数	P 11
第21条	競技会受付（参加確認）	P 11
第22条	車両検査	P 11
第23条	コントロール	P 12
第24条	スペシャルステージ	P 12
第25条	順位決定	P 12
第26条	抗議	P 12
第27条	競技会の延期、中止、または短縮	P 13
第28条	損害の補償	P 13
第29条	本競技規則の解釈	P 14
第30条	罰則	P 14
第31条	オフィシャルの識別	P 14
第32条	事前走行の禁止	P 14
第33条	開会式 セレモニアルスタート 閉会式	P 14
第34条	本共通規則の施行ならびに記載されていない事項	P 14
細則1		P 16
細則2		P 17
細則3		P 18
細則4		P 19
細則5		P 19
細則6		P 19
細則7		P 20

公示

本競技会は、F I A 国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した一般社団法人日本自動車連盟（J A F）の国内競技規則およびその細則（2026年日本ラリー選手権規定、J M R C 中部共通規則、J M R C 中部ラリーシリーズ戦規定）および本大会特別規則と細則に従って開催される。

第1条 プログラム

アイテム	日時	場所
参加申込受付期間	4月17日（金） 9:00～ 5月16日（土） ～21:00	大会事務局
サービスパークオープン	6月6日（土） 8:00～18:00	株式会社フジ技研職員駐車場
レッキ受付	6月6日（土） 9:00～ 9:30	受付（FUJI HUB）
レッキ	6月6日（土） 9:00～13:30	石樽峠から開始
サービス・メディア受付	6月6日（土）10:00～15:00	受付（FUJI HUB）
参加確認	6月6日（土）13:30～15:00	受付（FUJI HUB）
公式車両検査	6月6日（土）13:30～16:00	車検場（FUJI HUB）
第1回審査委員会	6月6日（土）16:00～16:30	審査委員会室（FUJI HUB）
スタートリスト発表	6月6日（土）16:30	公式掲示板
開会式・ブリーフィング	6月6日（土）17:00～17:40	FUJI HUB
スタート（先頭車・予定）	6月7日（日） 8:00～	株式会社フジ技研職員駐車場
セレモニアルスタート（予定）	6月7日（日） 8:05～	FUJI HUB
ラリーフィニッシュ（先頭車・予定）	6月7日（日）14:02	株式会社フジ技研職員駐車場
再車検（予定）	6月7日（日）14:02～	株式会社フジ技研職員駐車場
暫定結果発表（予定）	6月7日（日）15:30	公式掲示板
表彰式（予定）	6月7日（日）16:00～	FUJI HUB

第2条 競技会の名称

2026年 J A F 中部・近畿ラリー選手権 第1戦
2026年 J M R C 中部ラリーチャンピオンシリーズ 第1戦
2026年 J M R C 中部ラリーチャレンジシリーズ 第1戦
『いなべ東近江ラリー2026』

第3条 競技会の格式

J A F 公認準国内競技 公認番号：2026-2103

第4条 競技種目

ラリー競技開催規定の細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

第5条 開催日程および開催場所・競技距離

日程 : 2026年6月6日（土）～7日（日）の2日間
場所 : 三重県いなべ市～滋賀県東近江市 ※競技距離は第7条に記す
ラリースタート : 三重県いなべ市 FUJI HUB ラリーフィニッシュ : 三重県いなべ市 株式会社フジ技研 駐車場

第6条 競技会本部（H Q）及び、サービスパーク

所 在 地：いなべ市大安町鍋坂 2366-1

名 称：H Q: FUJI HUB

サービスパーク：株式会社フジ技研 駐車場（非舗装）

電話番号：090-4197-6639（競技長）

開設日時：6月6日（土） 8:00～19:00

開設日時：6月7日（日） 6:00～18:00

※レイアウトは別途コミュニケーションを発行して示す。

第7条 コース概要

スペシャルステージの路面：舗装

総走行距離：126.02km（選手権・オープン）63.05km（チャレンジ）

スペシャルステージの総距離：24.66km（選手権・オープン）12.33km（チャレンジ）

スペシャルステージの数：4（選手権・オープン）2（チャレンジ）

セクションの数：2（選手権・オープン）1（チャレンジ）

レグの数：1

第8条 オーガナイザー

名 称：トライアルスタッフオン！（以下、「ON!」とする）[JAF 加盟 No.24024]

所在地：〒513-0041 三重県鈴鹿市長太新町4-2-36 スタッフオン株式会社内

代表者名：竜田 健

TEL：059-385-4019 FAX：059-385-4047

E-Mail：info@staff-on.com URL：http://www.staff-on.com

第9条 大会役員

9.1 大会役員

大会特別名誉会長	： 一見 勝之	（三重県知事）	三日月 大造	（滋賀県知事）
大会名誉会長	： 日沖 靖	（いなべ市長）	小椋 正清	（東近江市長）
	：			
大会名誉顧問	： 日沖 正信	（三重県議会議員）		
大会実行委員長	： 清水 隆弘	（いなべ市議会議員）		
大会実行副委員長	： 藤田 賢吾	（菰野町議会議長）		
大会会長	： 竜田 健	（ON! 代表）		

9.2 組織委員会

組織委員長	： 竜田 健	（ON!）
組織委員	： 齋藤 雅輝	（ON!）
組織委員	： 野村 好人	（ON!）

第10条 競技会主要役員

10.1 審査委員会

審査委員長 : 鎌野 賢志 JMRC 中部派遣
審査委員 : 梅津 祐実 JMRC 近畿派遣

10.2 競技役員

競技長 : 竜田 健 (ON!) 副競技長 : 齋藤 雅輝 (ON!)
コース委員長 : 野村 好人 (ON!) 副競技長 : 加藤 壽孝 (ON!)
計時委員長 : 鈴木 晴彦 (T.WOT) 副競技長 : 新堂 啓太 (SHIROKIYA)
技術委員長 : 中根 敏晴 (ON!) 副技術委員長 : 石垣 進一 (ON!)
救急委員長 : 竜田 真由美 (ON!)
事務局長 : 伊藤 宏将 (ON!)
医師団長 : 古橋 範雄 (ON!)
サービスパーク管理者 : 川島 浩史 (ON!)
コンペティターズリレーションズオフィサー (CRO) : 藤田 洋文 (Symphony)

第11条 参加申込および参加料

11.1 参加申込先 (大会事務局) いなべ東近江ラリー 2026 事務局

所在地 : 〒513-0041 三重県鈴鹿市長太新町 4-2-36 スタッフオン株式会社内

担当者 : 竜田 健

TEL : 090-4197-6639 FAX : 059-385-4047

E-Mail : info@staff-on.com URL : http://www.staff-on.com

11.2 参加申込期間と提出書類

受付開始 2026年4月17日 (金) 9:00

受付終了 2026年5月16日 (土) 21:00

次に指定する2つの方法により①～⑧のすべての情報を提出すること。

■ 中部近畿共通フォームからの提出 (①参加申込書②車両申告書③サービス申込書)

※①～③は中部近畿共通フォームへの入力のみ、原紙送付不要

フォーム https://masc.main.jp/jmrc/derc_entry_form_2026.html

■ メールでの提出 (④～⑦)

次に規定する④⑤⑥⑦の画像を PDF に変換の上、電子メール添付にて提出すること。

送付先は info@staff-on.com とし、件名を「いなべ東近江ラリー (ドライバー名)」として

受付期間内に送信すること。

④ クルーの運転免許証と競技運転者許可証 マイナ免許証のみの場合、読み取りアプリの画面コピー

<https://myrna-menkyo-app.npa.go.jp/>

⑤ 参加車両の自動車検査証 (電子車検証は、自動車検査証記録事項も添付)

⑥ ラリー競技に有効な自動車保険証券等、スポーツ安全保険、各地区 JMRC 共済、対人対物に有効な互助会 (見舞金) の加入を証明する書類

⑦ 参加料振込明細書

⑧ 「誓約書」は開催日当日、参加受付で原本を提出して下さい。

なお、提出物④、⑧の様式は下記 URL からダウンロードして使用すること。

<http://staff-on.com/motorsports/inabehigasiomirally2026/service3.html>

1 1.3 参加料の支払方法

参加料は下記の預金口座へ振込によって支払うこと。

銀行名：桑名三重信用金庫 支店名：員弁中央支店
口座番号：普通預金 0 0 9 2 6 4 9 口座名義：トライアルスタッフオン
参加申込にかかる振込手数料は参加者の負担とする。

1 1.4 参加料

1 1.4.1 エントリー費（全て、6 日開会式後のウェルカムパーティ参加費を含む）

①中部・近畿ラリー選手権・チャンピオンシリーズ

1 台につき 6 0, 0 0 0 円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）

②チャレンジシリーズ

1 台につき 4 0, 0 0 0 円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）

③オープンクラス

1 台につき 5 8, 0 0 0 円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）

④レッキ体験クラス

1 台につき 1 0, 0 0 0 円

⑤Women's Rally Cup

本項①～③に参加する女性クルーに対して自動的に適用され、追加費用は必要としない。

※各自で宿泊を手配する場合は、宿泊費を送金せずに、費用計算書欄外にその旨記入する事。

開催エリア付近の宿泊施設情報は少なく、各自手配の際は十分余裕をもって手配する事。

主催者斡旋宿泊は、申込順に青川峡キャンプパークを斡旋する。（1 名 6, 000 円）

定員を超えた場合、木地師やまの子の家（東近江市）を斡旋する。（1 名 4, 000 円）

※ウェルカムパーティは原則参加とし、やむを得ず欠席の場合は費用計算書欄外にその旨記入する事。

パーティは会場使用料と一体の為、欠席の場合も参加費の返還は行わない。

・サービス登録料（各クラス共通）

サービス人員 1 名につき 1, 0 0 0 円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）

サービス車両及び駐車枠 追加 1 台または 1 台分枠につき 1, 0 0 0 円

※サービス車両 1 台分（但し、コ・ドライバー車両または送迎車両等を含む）は無料

※サービス人員もパーティに参加希望の場合、1 名につき + 2, 0 0 0 円を追加し送金する事。

1 1.4.2 エントリー費の割引制度

エントリー促進、開催地域の活性化を目的として下記の割引制度を設定します。

① TGR ラリーチャレンジ準拠車両（タイヤを含む）にて中部・近畿ラリー選手権にエントリーする場合

→ 1 0, 0 0 0 円割引

JMRC 中部チャレンジシリーズにエントリーする場合

→ 5, 0 0 0 円割引

② 6 月 6 日時点で 2 5 歳以下のドライバー

→ 1 0, 0 0 0 円割引

JMRC 中部チャレンジシリーズにエントリーする場合

→ 5, 0 0 0 円割引

③ Women's ドライバー支援（コ・ドライバーは適用外）

→ 1 0, 0 0 0 円割引

※上記①と②は重複適用不可。③は①または②と重複適用可とする。

第12条 保険

競技参加者はラリー競技に有効な対人（自賠責の他に最低400万円）・対物賠償保険（最低30万円）および搭乗者保険、または上記要件を満たす各地区JMR C共済、互助会等に参加し、その証明を事前に提出すること。※事故等の損害賠償額が、各保険および互助会の限度額を超えた場合は自己責任とし、主催者は一切責任を負わない。よって、補償が十分にあるラリー競技に有効な任意保険に参加することを強く推奨する。競技中に人工の構造物、自然の樹木等に損害を与えた場合、当該車両の運転者は速やかに主催者にその詳細を報告しなければならない。自損事故においても同様に報告すること。

第13条 整備作業

13.1 監督役員

9.4に記載の技術委員長及びサービスパーク管理者が監督を行う。

13.2 整備作業の場所

整備作業を行うことができる場所：コミュニケーションで指定されるサービスパーク内のエリアに限る。

整備作業は必ずブルーシートを敷いて行う事。

13.3 サービスカー

サービスカーの管理方法：サービス車両として登録された車両には、識別のための駐車パスを発行する。

駐車パスは常に視認できるようにダッシュボード等に掲示すること。

13.4 整備作業の報告

整備作業の報告：13.5項の1)～5)以外の整備作業を行なう場合は、技術委員長の許可を得た上で行ない、整備作業後には所定の整備申告書を必ず提出すること。

13.5 申告を必要としない整備作業の範囲

1) タイヤの交換

2) ランプ類のバルブ交換

3) 点火プラグの交換

4) Vベルトの交換

5) 各部点検増締め、洗浄、および油脂類、冷却水、ウォッシャー液の補充

13.6 スペシャルステージ開催規定第3章第16条サービスに該当しないサービスは設けない。

第14条 賞典

DE-1：1～3位 JAFメダル・副賞 4～6位 副賞

DE-2：1～3位 JAFメダル・副賞 4～6位 副賞

DE-5：1～3位 JAFメダル・副賞 4～6位 副賞

DE-6：1～3位 JAFメダル・副賞 4～6位 副賞

チャレンジクラス：1位～3位 JAFメダル・副賞

オープンクラス：1位～3位主催者特別賞

Women's ドライバー賞 1位 主催者賞 Women's コ・ドライバー賞 1位 主催者賞

尚、JAFメダルを除き、各クラス参加台数の30%を下回らない範囲で賞典の制限をする。

この場合の正式な賞典内容は公式通知にて告知される。

第15条 ラリー行程表（アイテナリー）

本規則書細則1および2に示す。

第16条 参加車両

16.1 JAF中部・近畿ラリー選手権/JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ

2026年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定（RJ・RRN・RF・RPN・AE）に従った車両

16.2 JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ

2026年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定（RJ・RRN・RF・RPN・AE）に従った車両およびFIA公認車両またはJAF登録車両で、2002年12月31日以前に運輸支局等に初度登録され、かつ2002年JAF国内競技車両規則第3編ラリー車両規定に従った車両（RB車両）

16.3

16.1～16.2の共通事項として下記の条件を満たすこと。

16.3.1

純正又は車検対応マフラーを装着していること。

RPN・AE車両は、2026年JAF国内車両規則に準じること。

16.3.2

各車両規定に定められている仕様の消火器を装備すること。

16.3.3

非常用停止表示板（三角）2枚、非常用信号灯用具（発煙筒・赤色灯等）牽引用ロープOK／SOSマーク（A3）2枚、救急用品を携行していること。

なお、非常用停止表示板（三角）及びOK／SOSマークは、クルーが着座した状態で工具を使用することなく取り出せる場所に設置すること。

16.3.4

メーカーラインオフ時に装備されている安全ベルト（3点式等）に加え、4点式以上の安全ベルトを装備すること。6点式以上のFIA公認安全ベルト（有効期限内）の装着を強く推奨する。

16.3.5

2026年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ及びチャレンジシリーズで利用できるタイヤは市販タイヤに限る。

16.3.6

ホイールは下記の最大直径および最大幅を超えないこと。

DE-1 最大直径18インチ 最大幅8.0インチ

DE-2 最大直径18インチ 最大幅7.5インチ

DE-5 最大直径18インチ 最大幅7.0インチ

DE-6 最大直径18インチ 最大幅8.0インチ

※三菱ランサーおよびスバルインプレッサ、WRXはホイールサイズが少ない事を考慮し最大直径18インチ 最大幅8.5インチまでとする。

16.3.7

各クラスで使用するタイヤは、以下に記載の最大幅（タイヤに刻印されたサイズ）を超えていないこと。

DE-1 最大幅235ミリ、直径650mm以下（タイヤに刻印されたサイズ）

DE-2 最大幅225ミリ

DE-5 最大幅215ミリ

DE-6 最大幅235ミリ

※三菱ランサーおよびスバルインプレッサ、WRXはホイールサイズが少ない事を考慮し最大幅（245）ミリ（タイヤに刻印されたサイズ）までとする。

1 6.3.8

1 本または複数のスペアタイヤを搭載しなければならない。(但し、メーカーラインオフ時にスペアタイヤが搭載されていない場合はこの限りではない)

1 6.3.9

エアクリーナーケースを変更することは出来ない。但し、フィルターエレメントの材質は自由とする。

1 6.3.1 0

過給器付車両へのエアリストリクター装着は任意とする。ただし、装着する場合、そのサイズは最大内径 3 3 mm (外径 3 9 mm 未満) とするが、RRN 車両のリストリクターは公認サイズでなければならない。過給機ハウジング内径が市販状態で 3 2 mm 以下である場合はリストリクターの装着は不要とする。DE-1 クラスについては、エアリストリクターを装着しない場合は、ECU の変更・改造は一切認められない。

1 6.3.1 1

参加クルーの安全性向上を図る目的で RallyStream 社のトラッキングを採用する。各クルーはインターネットに接続された iPhone 又は Android 端末に下記 URL 記載のアプリケーションをあらかじめインストールし車両に搭載すること。また、当日の電源や熱、走行振動を考慮・対策の上で設置すること。イベント番号はレッキ受付時に通知する。

<https://www.rallystream.net/competitor/> (ラリーストリーム・QR リンク→)

第 1 7 条 クラス区分

1 7.1 J A F 中部・近畿ラリー選手権 (J M R C 中部チャンピオンシリーズ)

1 7.1.1 D E - 1 クラス

- ・気筒容積が 2 5 0 0 c c を超える 4 輪駆動の R J または R F 車両。
- ・4 輪駆動の R R N 車両。

1 7.1.2 D E - 2 クラス

- ・気筒容積が 1 5 0 0 c c を超え 2 5 0 0 c c 以下の R J、R P N または R F 車両。
- ・気筒容積が 2 5 0 0 c c を超える 2 輪駆動の R J、R P N または R F 車両。

なお、R P N 車両については 同一車両型式の最も古い J A F 登録年が 2 0 0 6 年 1 月 1 日以降の車両のみ参加が認められる。

- ・2 輪駆動の R R N 車両。

1 7.1.3 D E - 5 クラス

- ・気筒容積が 1 5 0 0 c c 以下の R J、R P N または R F 車両。

なお、R P N 車両については、同一車両型式の最も古い J A F 登録年が 2 0 0 6 年 1 月 1 日以降の車両のみ参加が認められる。

1 7.1.4 D E - 6 クラス

- ・気筒容積が 1 5 0 0 c c 以下の R P N、R F 車両 (AT に限定) 。

なお、R P N 車両については、同一車両型式の最も古い J A F 登録年が 2 0 0 6 年 1 月 1 日以降の車両のみ参加が認められる。

- ・A E 車両 (気筒容積別区分なし) 。

1 7.2 チャレンジクラス (J M R C 中部ラリーチャレンジシリーズ)

気筒容積、駆動方式および異なる車両区分 (R J、R B、R F、R P N、A E、R R N) によるクラス区分は行わない。

1 7.3 Women's Rally Cup

Women's Rally Cup は、17.1 または 17.2 に参加する女性ドライバー、女性コ・ドライバーを

対象に自動的にポイント付与するもので、独立したクラスを設けるものではない。

17.4 レッキ体験クラス

自動車登録番号票（ナンバープレート）および有効な車検期間を有する乗用車。クラス区分なし。

17.5 オープンクラス

気筒容積、駆動方式および異なる車両区分（RJ/RB/RF/RPN/AE/RRN）によるクラス区分は行わない。

第18条 参加資格

18.1 J A F 中部・近畿ラリー選手権/ J M R C 中部ラリーチャンピオンシリーズ オープンクラス レッキ体験クラス

18.1.1

競技参加者は当該年有効な J A F 競技参加者許可証を所持していなければならない。

但し、クルーが競技参加者を兼ねる場合、この限りではない。

18.1.2

クルーは当該年有効な J A F 国内競技運転者許可証 B 以上を所持していること。

18.1.3

クルーは参加車両を運転するのに有効な運転免許証を所持していなければならない。

18.2 J M R C 中部ラリーチャレンジシリーズ

18.2.1

18.1.1～18.1.3に、18.2.2～18.2.3を追加する。

18.2.2

ドライバーはドライバーとして、過去5年以内の J M R C 各地域のラリーシリーズまたは J A F 全日本・地方ラリー選手権においてシリーズ3位以内となった経験が無い者であること。

18.2.3

参加資格について疑義がある場合は、その証明責任は参加者にあるものとする。

18.3 Women's Rally Cup

18.1または18.2に参加する女性ドライバー、女性コ・ドライバー個人に対して、自動エントリー制とする。

※レッキ体験クラスは対象外

第19条 参加受理

19.1

正式参加受理は、参加申込締切後7日以内に公式 WEB サイトにて発表する エントリーリストによる。

（書面による通知は行わない）

19.2

オーガナイザーは、理由を示すことなく参加拒否する権限がある。

19.3

参加不受理の場合は、事務諸経費2,000円を差し引いて参加料を返還する。

また、正式参加受理後、参加料および提出書類は一切返還されない。

19.4

正式参加受理後のクルーの変更は認められない。但し、コ・ドライバー及び参加車両に

ついては、参加者から理由を付した文章が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はこの限りではない。

19.5

参加車両の変更は、同一クラス内に限り競技会3日前までに競技会審査委員会が認めた場合変更できる。

19.6

正式参加受理後の全ての変更は、参加者が理由を付した正式文書に変更手数料 2,000 円を添えて
オーガナイザーに届けるものとし、競技会審査委員会の承認を必要とする。

第20条 参加台数

参加台数は、原則として全クラスを通じ最大 75 台とする。申込台数が 75 台を超えた場合は、競技会
組織委員会の選考により決定する。

第21条 競技会受付（参加確認）

競技会受付では、競技参加者許可証、クルーの運転免許証、競技運転者許可証、健康管理カード参加車両の自
動車検査証（自動車検査証記録事項および付帯書類等）、自動車損害賠償責任保険証、ラリー競技に有効
な自動車保険証等原本（加入と補償内容等が明確に確認できるもの）その他主催者が提出を求める必要書類等
を速やかに提出すること。但し、事前にこれらの画像データをメール送信している場合は原本確認のみを行う。

第22条 車両検査

技術委員により参加車両の検査、サービス作業の管理およびマーキング・封印を行う場合がある。車両検査の合否
の最終的な判定は技術委員長長の判断となる。

22.1

クルーは車両の主要諸元を証明するための当該自動車製造者発行のカタログ、パンフレット等（新型車解説書
整備解説書等を含む）を、常に携帯すること。また公認車両は前記書類の他に公認書および公認付属書も
携帯すること。

22.2

車両検査はタイムスケジュールに従って指定の場所で受けなければならない。車両検査を受けていない場合
（競技会審査委員会が不可抗力と認めた場合を除く）および車両検査不合格の場合（競技会審査委員会は
規則に合致させるための限られた修復時間を与える場合がある）はそれ以降の出走はできない。

22.3

クルーの装備品 当該年国内競技車両規則第 5 編細則ラリー競技に参加するクルーの装備品に
関する細則に従ったヘルメットおよびレーシングスーツを着用すること。

また、スペシャルステージの運転操作時はグローブも着用すること。頸部及び頭部の保護装置（FHR システム）
の装着を強く推奨する。

22.4

競技参加者が車載カメラ等を装着する場合、その装置は以下の要件を満たさなければならない。

- ・車体の表面からはみ出してはならない。
- ・コクピット内では、ダッシュボードの最後端点を通る垂直横断平面とドライバー/コ・ドライバー（ナビゲーター）
座席の最後端点を通る垂直横断平面の間にカメラを設置することは（その取付け部位を含めて）禁止される。
- ・取り付けは、ネジ止め、金属ネジ止め、ネジ止めクランプ、金属インサートのみでおこなわなければならない。
（禁止：接着剤、両面テープ、粘着剤、吸盤など）
- ・取り付けはロールバーに堅牢に固定し、ロールバーからの突出量は最低限に抑えること。ロールバーに対する加工
改造は認められない。
- ・競技会公式車両検査の前に設置しなければならない。
- ・クルーの視界、緊急時の出入り、脱出の妨げになってはならない。

・スマートフォン、タブレットなどの設置も同様の要件を満たさなければならない。（トラッキング機材は除く）

2.2.5

最終タイムコントロール通過後、指示された車両に対し最終車両検査を行う。また、競技会審査委員会または競技会技術委員長が必要と判断した場合、もしくは抗議の内容により必要とされる場合、分解を伴う検査を行う。最終車両検査の対象になった競技参加者はその指示に従うこと。その際の分解、組付けに必要な工具・部品費用は全て競技参加者の負担とする。

2.2.6

J M R C 中部ラリーシリーズで重量測定の確認を行う場合は、J A F 国内競技車両規定第2編ラリー車両規定第9条で定められた各数値とする。

第23条 コントロール

2.3.1 公式時刻

公式時刻は、日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。

2.3.2 早着ペナルティの対象としないタイムコントロール

Leg 1 TC 4 A は早着ペナルティの対象としない。

第24条 スペシャルステージ

2.4.1

スペシャルステージの計測は1 / 10 秒まで計測する。

2.4.2

スペシャルステージは、ラリー競技開催規定細則、スペシャルステージラリー開催規定 第28条に従って行われる。

第25条 順位決定

2.4.1 クラスの競技結果

スペシャル ステージで記録された所要時間と、ロードセクションその他で課せられたペナルティを合計して決定される。合計タイムが同じ場合は下記の順により順位を決定する。

- 1) 最初のスペシャルステージ区間の所用時間が少ない者。
- 2) 次のスペシャルステージ区間の所用時間が少ない者。
- 3) 競技会審査委員会が最終決定する。

第26条 抗議

2.6.1

参加者は自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第12条に従い、抗議する権利を有する。

2.6.1.1

抗議を行う場合は、必ず文書にて理由を明記し、21,200 円を添えて競技長に提出すること。

2.6.1.2

抗議が正当と裁定された場合抗議料は返却される。

2.6.1.3

抗議により車両の分解検査に要した費用は、その抗議が正当と裁定されなかった場合は抗議提出者が正当と裁定された場合は抗議対象者が負担する。

その際に要した分解整備等の費用は競技会技術委員長が算出する。

2 6 . 1 . 4

審判員の判定、計時装置に対して抗議することはできない。

2 6 . 1 . 5

競技会審査委員会の裁定は、抗議者に宣告される。

2 6 . 2 抗議の時間

2 6 . 2 . 1

競技会技術委員長の決定に関する抗議は、決定直後に提出しなければならない。

2 6 . 2 . 2

成績に関する抗議は、暫定結果発表後 3 0 分以内に提出しなければならない。

第 2 7 条 競技会の延期、中止、または短縮

2 7 . 1

競技会審査委員会は保安上もしくは不可抗力などにより競技の運営に支障がある場合、競技会の延期、中止短縮および内容の変更を決定することができる。

2 7 . 2

延期されたために競技会への参加が不可能となった場合、オーガナイザーの指示する期間内に返還要求を行うことにより参加料は返還される。

2 7 . 3

中止になった場合、事務所経費 2000 円を差し引いて参加料を返還する。

2 7 . 4

競技の進行が全ての参加車両に対して不可能、または著しい障害が生じた場合、もしくは他に及ぼす影響等で競技の続行ができなくなった場合、競技会審査委員会の承認のもと競技長の判断により、打ち切りおよび特定区間の中断を行う。

2 7 . 5

競技が打ち切りになった場合の成績は、競技打ち切り時点までにおけるものとし競技は成立する。

また、打ち切りおよび特定区間の中断により、クラスごとに採点される区間が異なる場合がある。

第 2 8 条 損害の補償

2 8 . 1

競技参加者、クルーは参加車両およびその付属品が破損した場合および第三者に損害を与えた場合その修復等に対する責任を自己が負わなければならない。

2 8 . 2

競技参加者、クルーは J A F、オーガナイザー、大会役員、オフィシャル、道路管理者、警察および関係省庁が一切の損害事故の責任を免除されていることを了承しなければならない。すなわち、競技役員がその役務遂行に最善を尽くすことはもちろんであるが、競技参加者、クルー、サービス員の負傷、死亡その他車両の損害賠償に対して J A F、オーガナイザー、大会役員、オフィシャル、道路管理者、警察および関係省庁は一切補償責任を負わない。

2 8 . 3

競技参加者、クルー、サービス員が競技中に起こしたオーガナイザーおよび役員の車両またはその設備や、道路関係施設、会場施設・備品、樹木等に対する事故は、いかなる場合も競技参加者が責任をもって賠償するものとする。

第29条 本共通規則の解釈

本共通規則、競技会特別規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定を最終とする。

第30条 罰則

30.1

ラリー競技開催規定細則「スペシャルステージラリー開催規定」第28条に従う。

30.2

規則違反、または競技役員の指示に対する不遵守は、国内競技規定に記載されている条項に従って罰則が適応される。

30.3

本規則に関する罰則及び本規則に定められていない罰則の選択については、競技会審査委員会が決定する。

30.4

レッキ中の事故・違反・暴走に対し競技会審査委員会の裁定により、失格またはタイムペナルティ60秒を上限とする罰則が適用される。

第31条 オフィシャルの識別

コース上のオフィシャルおよびメディアは以下のタパードにより識別される。

ポストチーフ	青色タパードに黒文字	POST CHIEF
ポストマーシャル	橙色タパードに白文字	POST MARSHAL
ステージコマンダー	赤色タパードに黒文字	STAGE COMMANDER
ラジオポイントマーシャル	黄色タパードに右の図柄	
セーフティマーシャル	橙色タパードに黒文字	SAFETY
セーフティマーシャル	赤色タパードに白文字	SAFETY MARSHAL
メディカルマーシャル	白色タパードに黒文字	MEDICAL
CRO	赤色タパードに黒文字	COMPETITORS RELATIONS OFFICER
技術マーシャル	黒色タパードに白文字	SCRUTINEER
メディア	緑色タパードに黒文字	MEDIA

第32条 事前走行の禁止

いなべ市及び東近江市における事前走行および練習走行とみなされる行為を禁止します。

これらの行為が確認されたクルーについては、以後の当ラリーへの参加出走を認めません。

第33条 開会式 セレモニアルスタート 閉会式

本規則細則5に示す。

第34条 本共通規則の施行ならびに記載されていない事項

34.1 本共通規則の適用は本シリーズ競技会に適用されるもので参加確認と同時に有効となる。

34.2 本共通規則に記載されていない競技に関する事項は、JAF 国内競技規則、ラリー競技開催規定およびその細則に従う。

3 4 . 3 公式通知はその示す範囲において、すでに示された事項に優先する。

3 4 . 4 各規則書発行後、JAF によって決定された事項は、すべての規則に優先する。

以上

いなべ東近江ラリー 2 0 2 6

大会組織委員会

発行 2026.4.17

更新 2026.5.24

(アイテナリー正式)



細則 1 アイテナリー 選手権 オープンクラス

INABE HIGASHIOUMI RALLY 2026
ITINERARY(選手権・オープン)

Leg1 2026/6/7 SUNDAY

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due	
SS	場所	SS距離	リエゾン距離	総移動距離	目標所要時間	先頭車時刻	
TC0	Rally Start (株式会社フジ技研職員駐車場)					8:00	Section 1
1	Eigenji Temple	-	30.23	30.23	1:10	9:10	
SS1	Eigenji Temple 1 (永源寺1)	2.11	-	-	0:03	9:13	
2	Ishigure Peak West (石樽峠西)	-	12.21	14.32	0:30	9:43	
SS2	Ishigure Peak West Long 1 (石樽峠西1)	10.22	-	-	0:03	9:46	
2A	Service A IN	-	8.27	18.49	0:40	10:26	
	Service A (株式会社フジ技研駐車場)	(12.33)	(50.72)	(63.05)	0:45		
2B	Service A OUT - Regroupe IN	-	-	-	-	11:11	Section 2
	Section 1 Total	12.33	50.72	63.05			
2C	Regroupe OUT	-	-	-	0:15	11:26	
RZ1	Refuel (宇佐美)		0.99	0.99			
	Distance from TC0 (TC0からの距離)	12.33	51.71	64.04			
	Distance to TC4A (TC4Aまでの距離)	12.33	49.65	61.98			
3	Eigenji Temple	-	29.24	30.23	1:20	12:46	
SS3	Eigenji Temple 2 (永源寺2)	2.11	-	-	0:03	12:49	
4	Ishigure Peak West (石樽峠西)	-	12.21	14.32	0:30	13:19	
SS4	Ishigure Peak West Long 2 (石樽峠西2)	10.22	-	-	0:03	13:22	
4A	Rally Finish (株式会社フジ技研駐車場)	-	8.20	18.42	0:40	14:02	
	Section 2 Total	12.33	50.65	62.98			
	Leg1 Total	24.66	101.36	126.02			
	Rally Total	24.66	101.36	126.02			

※ロードセクションのスタートタイムは、各SSのアクチャルスタートタイムとします (TC0、TC2Cを除く)

※TC4Aは早着によるペナルティはありません

※各区間距離は1メートル単位で計算されており、トータル距離の10m単位で繰上げや繰り下げが生じ、整合しない場合があります。

細則 2 アイテナリー チャレンジ

INABE HIGASHIOUMI RALLY 2026 ITINERARY(チャレンジ)

Leg1 2026/6/7 SUNDAY

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
SS	場所	S S 距離	リエゾン距離	総移動距離	目標所要時間	先頭車時刻
TC0	Rally Start (株式会社フジ技研職員駐車場)					8:55
1	Eigenji Temple	-	30.23	30.23	1:10	10:05
SS1	Eigenji Temple 1 (永源寺1)	2.11	-	-	0:03	10:08
2	Ishigure Peak West (石樽峠西)	-	12.21	14.32	0:30	10:38
SS2	Ishigure Peak West Long 1 (石樽峠西1)	10.22	-	-	0:03	10:41
2A	Rally Finish (株式会社フジ技研駐車場)	-	8.27	18.49	0:40	11:21
Section 1 Total		12.33	50.72	63.05		
Leg1 Total		12.33	50.72	63.05		
Rally Total		12.33	50.72	63.05		

Section 1

※ロードセクションのスタートタイムは、各SSのアクチャルスタートタイムとします (TC0を除く)

細則 3 レッキの実施方法

受付日時 2026年6月6日(土) 9:00～9:30

受付場所 FUJI HUB (三重県いなべ市大安町鍋坂2366-1)

受付にて レッキ用の諸注意、ロードブック、ゼッケンを配布します。

レッキ用ゼッケンは、左右ドアミラーに貼り付ける事。

レッキ 隊列は組まないで、受付終了後は速やかに各自で出発する事。

必ず、ロードブックに従って、各SSを2回ずつ走行する事。

永源寺2回→石榑峠西2回→サービスパーク

開設時間 永源寺 10:00～12:00

石榑峠西 11:00～13:00

- 遵守事項
1. 現地では定刻にスーパーによる競技車両排除が行われる。
 2. 遅刻等により、レッキ不十分な場合であっても、個別救済等の措置は行わない。
 3. 全てのコースで、レッキ時には、道路の占用許可は取っておらず、また石榑峠ではハイキングシーズンの為、ハイカーがコース内を散策する可能性がある。
1回目、2回目共、法規運転は勿論、事故等起さないよう十分留意する事。
 4. レッキ中はなるべく停車させない事。やむを得ず停車する場合は、後続車の追突を誘発しないよう、停車場所に十分留意する事。
 5. レッキ終了後、指定給油所での満タン給油を義務付ける。
 6. 当地ではラリーへの関心がとても高まっており、法規運転、安全運転は勿論休憩時等も、周囲の人の目を十分意識し、選手としてモラルある行動を取る事。
 7. その他、各所でオフィシャルの指示には必ず従う事。
 8. レッキ開設時間を厳守する事。
 9. 以上これらの事に違反が見られた場合や、レッキ中の事故や違反等については審査委員会に報告の上、厳正に対処する。

細則4 CRO（コンペティターリレーションオフィサー）

氏名： 藤田 洋文

電話： 当日エントラントに配布するクレデンシャル裏面に記す。



行動予定

6日

9:00	～	9:30	レッキ受付	(FUJI HUB)
9:30	～	16:00	サービスパーク	(株式会社フジ技研職員駐車場)
16:00	～	16:30	審査委員会	(FUJI HUB)
17:00	～	19:00	開会式	(FUJI HUB)
20:00	～		宿泊施設	(木地師山の子の家・予定)

7日

7:30	～	9:00	セレモニアルスタート	(FUJI HUB)
9:00	～	10:30	サービスパーク	(株式会社フジ技研職員駐車場)
10:30	～	12:00	チャレンジクラス・ ラリーフィニッシュ	(株式会社フジ技研職員駐車場)
12:00	～	15:20	サービスパーク	(株式会社フジ技研職員駐車場)
15:30	～	16:00	審査委員会	(FUJI HUB)
16:00	～		表彰式	(FUJI HUB)

細則5 開会式及びドライバーズブリーフィング

開会式及びドライバーズブリーフィングにはクルーが必ず出席する事。

セレモニアルスタート及び閉会式は実施しない場合がある。

その場合の賞典授与方法変更など（HQ での授与等）については、公式通知の発行をもって通知する。

細則6 ゼッケン等貼り付け位置

ゼッケン

： 左右ドアおよびボンネットの計 3 枚 3 カ所。

J A F 公認ラリー競技会之証

： 左リアウインドウに内側から貼り付ける。

細則 7 信号灯によるスタート手順

スタート40秒前 時分秒の表示		スタート5秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤1個点灯	
スタート30秒前 時分秒の表示 青3本 表示		スタート4秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤2個 点灯	
スタート15秒前 時分秒の表示 青2本 表示		スタート3秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤3個 点灯	
スタート10秒前 時分秒の表示 青1本 表示		スタート2秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤4個 点灯	
		スタート1秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤5個 点灯	
		スタート 時分秒の表示 青 消灯 赤 消灯 緑バー 点灯	

もしこのシステムが故障した場合は、クルーに充分聞こえる大きな声で30秒ー15秒ー10秒ー5秒ー4秒ー3秒ー2秒ー1秒の順にカウントダウンする。